

## 第 327 回 役員会議事要旨

日 時 令和 6 年 7 月 12 日 (金) 16 : 10 ~ 16 : 25

場 所 管理棟大会議室 + ウェブ (Zoom) 併用

出 席 者

【構成員】 浅井機構長、足立理事、長野理事、花垣理事、道園理事

【オブザーバー】 住吉監事、辻監事

【管理局等】 五味田総務部長、山崎財務部長、永木研究協力部長、永野施設部長、  
櫻井参事役、柴原参事役、岡田安全衛生推進室長、坪監査室長、原研究協力部次長、  
岩見人事担当課長、飯塚財務企画課長、枝川連携推進課長

議 事

【1】 第 325 回・第 326 回議事要録の確認について  
資料 1 のとおり了承された。

【2】 審議

(1) 「令和 6 年度中小企業者に関する契約の方針」の作成について

長野理事から、資料 2 に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。

なお、比較的大規模な国際調達の対象になる案件が多い中で、国に準じた目標設定・算出方法となると目標達成は困難であるとの発言があり、機構独自の目標設定が可能ではあるものの、算出方法も含め根拠・整理が必要となることから、これまで国に準ずる形をとっている旨の説明があった。

<主な意見・質疑応答等>

・当機構に限らず、他の国立研究開発法人等においても国等の目標値を満たしていないという状況なのか。

→そのように思っている。

・中小企業者の受注の機会の増大を図るためには、こういったやり方が考えられるのか。

→いつも付き合っている大企業にのみ情報提供するというのではなく、門戸を広げて色々な企業が参入できるように説明会を開催し、積極的に広げるなどが考えられる。どのような工夫があるかも含め、機構会議でも周知できればと思っている。

以上